

令和4年度学校自己評価システムシート (県立熊谷高等学校 定時制課程)

目指す学校像	自ら考え、判断し、目標に向かい着実に努力するとともに、他者への思いやりの心を持った心豊かな生徒を育てる学校
--------	---

重点目標	1 わかる授業に徹し、基礎学力の充実を図る。 2 生徒理解を深め、学校生活への適応指導を充実する。 3 積極的な情報発信、外部機関との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。 4 安全・安心な学校づくりに努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	【現状】 生徒一人一人の学習到達度を把握した指導計画の作成に取り組んでいる。 【課題】 「学びの基礎診断」を積極的に活用した学びのサイクル構築及びICTの機器利用やアクティブ・ラーニングの手法を活用した授業の実践	○生徒の学習意欲の向上及び基礎学力の定着	①学びの基礎診断のまとめテストの実施(学期2回) ②教員相互の授業見学、授業改善 ③進路面談の実施(年2回)及び進路資料室の整備・有効活用	①「学びの基礎診断」における学習達成率の増加 ②生徒の授業満足度(約90%)及び学習意欲(76%)の維持 ③進路達成率(75%)の維持		
2	【現状】 外部機関(SC、巡回支援員)と連携するなど、きめ細かい指導に取り組んでいる。 【課題】 充実した学校生活の実現(学校行事、部活動の工夫、充実)	○学校行事や部活動を活性化(外部機関との連携)	①外部機関(SC、巡回支援員)と連携した生徒理解 ②総合的な探究の時間、生徒会活動、学校行事、部活動の活性化 ③面談指導の充実	①転退学者の減少及び遅刻者の減少 ②学校行事への出席率の増加及び部活動加入率の増加		
3	【現状】 ホームページの活用や学校説明会等の運営方法見直しにより、本校の魅力や定時制の特色を外部へ発信して本校への入学希望者数を維持できた。 【課題】 保護者や生徒との連絡を確実にするためのメール配信システム等の導入及び積極的な広報活動	○効果的な広報活動の実施(定時制の特色のアピール)及びメール配信システムの導入	①ホームページの充実 ②学校説明会の参加者の増加 ③学校行事や公開授業の広報活動の充実(保護者等の参加者の増加) ④メール配信システムの導入	①ホームページの更新回数増加 ②学校説明会の参加者数及び学検志願者数の増加 ③学校行事への保護者の参加率の増加 ④メール配信システムの導入及び登録割合		
4	【現状】 施設・設備の安全維持に努めるとともに、自校給食実施校として衛生面での安全・安心の確保に努めている。 【課題】 登下校時の事故防止(自転車運転マナーの向上、交通安全指導の充実)	○施設・設備、給食点検の実施及び定期的な交通安全指導の実施	①巡回による日常的な設備点検の実施 ②給食点検、検食の確実な実施 ③自転車、自動二輪車、自動車使用者へのルールの徹底	①HR教室や使用教室の安全点検の実施及び速やかな修繕 ②安全に配慮した給食の提供 ③登下校時の交通事故件数の減少		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	